



〒615-8256
京都市西京区山田平尾町46-2
TEL.075-381-1870 FAX.075-381-1899
http://www.lifeinkyoto.com



ライフ・イン京都のデータ ※ケアセンターの共用施設については省きます。

- 事業主体：社会福祉法人 京都社会事業財団
- 敷地面積：14,216.87㎡ 事業主体所有
- 建物延面積：22,200.88㎡ 事業主体所有
- 居室数：一般居室（1DK～3LDK）全室個室77タイプ 226室（定員288名）
介護居室（ワンルーム）全室個室3タイプ 82室（定員82名）
- 居室面積：一般居室 31.19㎡～85.56㎡ 介護居室 15.71㎡～21.45㎡
- 交通の便：阪急京都線桂駅から約2,200m（専用バス約15分）
- 所在地：京都市西京区山田平尾町46番地の2
- 開設：昭和61年11月 ライフ・イン京都（本館）竣工
平成7年4月 ケアセンターこすもす竣工
平成17年10月 ケアセンターひまわり竣工
- 類型：介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）
- 表示事項：①居住の権利形態：利用権方式 ②利用料支払方式：一時金方式
③入居時の要件：入居時自立・要支援・要介護
④介護保険：京都市指定介護保険特定施設（一般型特定施設）
⑤介護居室区分：全室個室
⑥一般型特定施設である有料老人ホームの介護にかかわる職員体制：2：1以上

共用施設：ロビー、フロント、売店、集合郵便受け、多目的ホール、レストラン、シアタールーム、大浴場、応接会議室、カルチャー教室、デイルーム、談話室、アスレチックルーム（機能訓練室兼用）、ビューテラス、図書室、茶室、和室（3室）、アトリエA、アトリエB（プレイルーム兼用）、一人用介護浴室、来客用駐車場

利用時に費用が必要となるもの：美容室（予約制）、体験入居室・ゲストルーム：[本館2室]体験入居室／ゲストルーム兼用／予約制 [ケアセンターひまわり1室]体験入居室／ゲストルーム兼用／予約制
コインランドリーコーナー（2ヶ所・夫々洗濯機3台 乾燥機3台）

利用契約及び利用料が必要となるもの：トランクルーム、駐車場、一坪菜園

入居者の概要 2017年11月末現在			
一般居室		介護居室	
男性：57名	平均年齢：82.2歳	男性：11名	平均年齢：90.4歳
女性：144名	平均年齢：85.0歳	女性：66名	平均年齢：86.0歳



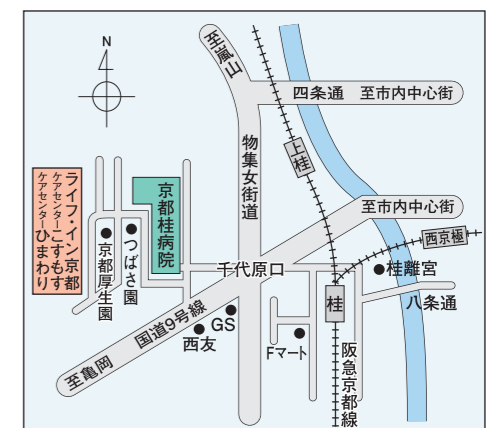
ライフ・イン京都



ケアセンターこすもす



ケアセンターひまわり



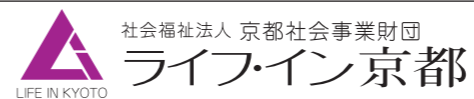
出かけませんか？

千本釈迦堂

節分会（おかめ福節分会）

昔、おかめさんという方がいて、その旦那（長井飛騨守高次）は大工の棟梁でした。高次は本堂の造営を行っていましたが、代わりのない大事な柱の寸法を誤ってしまい、1本を短く切ってしまいました。高次が困っているのを、妻のおかめは「杵組を用いたらどうですか？」とアドバイスをしました。この発想のおかげで、無事、大工の骨組みが出来上がったのです。めでたいはずですが、おかめは「女の提案で大任を果たしたことが世間に知れては夫が恥をかく。いつそわが身は夫の名声に捧げましよう」と、上棟式の前に自殺してしまいました。高次は妻の冥福を祈り宝篋印塔（おかめ塚）を建て、おかめの名にちなんだ福面を付けた扇御幣を飾り、冥福と大工の無事完成を祈ったそうです。その後、おかめ塚は大工さんの信仰の対象となり、今日も上棟式にはお多福の面を着けた御幣が飾られます。現在京都で使われているおかめの面の上棟御幣は、おかめの徳により、家宅の火災除け、家内安全と繁栄を祈って始められたものです。本堂では、木遣音頭奉納、おかめ法要が行われた後、茂山狂言会による鬼追いの儀が奉納され、その後演者らも加わり豆まきを行います。境内のおかめ像が西陣織の着物で着飾る姿にも注目です。

- *日時：2月3日（土）15時から
- *JR京都駅より市バス50系統（立命館大学前行）に乗り、上七軒で下車。
- *地下鉄今出川駅・京阪出町柳駅より市バス203系統（銀閣寺行）に乗り、上七軒で下車。
- *Tel 075(461)5973



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-2
TEL. 075-381-1870 FAX. 075-381-1899
http://www.lifeinkyoto.com

ご入居に関するお問い合わせは ▶ ☎ 0120-406-140 午前9時～午後6時（土日祝も受付）

あけまして おめでとうございませう



社会福祉法人 京都社会事業財団
介護付有料老人ホーム ライフ・イン京都

ホーム長 青山 薫

平成三十年、新しい年の到来です。年頭にあたり、ご入居者の方々はじめ、ライフ・イン京都に関わっていただいているすべての皆さまにとりまして、本年が良い一年でありますよう、お祈り申し上げます。

さて、私たちは日常の中で折々にお祈りをしますが、年越し参り、初日の出、年賀状、初詣等々、年が改まる時の祈りは特にその思いが深いのではないのでしょうか。

私は、特に決まった信仰があるわけではないのですが、毎日夜十時になると数秒間のお祈りをするにしています。この習慣は、2011年の東日本大震災後から続いています。震災の当日は職場の同僚が仙台で被災し、安否が取れずみんなで心配しましたが、夜

になって、ご家族共に無事を確認することができました。

その後、被災された方々に対して、為す術もなく、無力感にさいなまれていた頃、いつも読んでいた方のブログで、「毎日夜十時になったらお祈りをしましよ」というお誘いを見て、ご一緒させていただくことにしました。日本だけでなく世界各国から、この祈りは届けられました。

たくさんの方がいちどきにお祈りをする。個々人对するお祈りの方もあれば、具体的な対象者がいない場合は、「全ての方に愛が降り注ぎますように」とお祈りをする。ただそれだけの事ですが、目に見えない「気」や「思い」は、必ず小さな、しかし確実な波動となって伝わっていくように私には感じられたのです。

以来、呼びかけは数年で一旦閉じられましたが、私は毎日の習慣になってずっと続いています。時には闘病中の友人であったり、家族の事を併せて祈ることもありますが、たいていは、全ての方に対する祈りです。めまぐるしく過ぎていく毎日、ふと一瞬動きを止めて祈る。携帯電話のアラームが鳴った瞬間、嬉しい日も悲しい日も、一日生きた感謝を込めて祈ります。

ここライフ・イン京都にも、創生期から関わってこられた故山下会長、故矢崎副理事長をはじめとする役員や、自由闊達な生活や手厚い介護を求めて集われたご入居者、ご家族の方々の思いや祈りが込められています。

ホーム長に就任以来、百名近い方々が新しくご入居されました。これからもライフ・イン京都を末永く継続していくために、未来を見据えながら、その思いと祈りを具現化し、進化と深化をしていくことが求められています。

そのためにも、本年はライフ・イン京都の組織内部の改革を推進して参りたいと考えております。昨年十一月には、初の法人内異動として、阿部事務長が就任いたしました。現在は京都厚生園の事務長兼務ですが、新年度には専任の事務長となる予定です。

昨年は河合雅司著「未来の年表」という本が出版さ

れ、日本の未来について厳しい警鐘が鳴らされました。ライフ・イン京都の未来についても、入居推進、職員の確保、設備の改修等々、様々な角度から現状を分析して、傾向を掴み、対策に繋げていかなければなりません。

まずは開設当初より、少人数の職員体制から建て増しするように広げてきた事務所機能を根本的に見直し、さらなる充実を図りたいと思います。

法人内では「ひだまり保育園」が開設され、小さな体で一生涯懸命歩いたり、走ったりして遊ぶ子ども達の姿がみられるようになりました。若い職員が安心して働き続けられる仕組みがまた一つ増えたことを嬉しく思います。あとは働き盛りの職員の家族介護の問題を、介護休業だけでなく、他にも具体的な仕組みが作れないかと思案中です。

本年も、ますますライフ・イン京都が発展し続けていくけるよう、職員一同尽力して参ります。各位からのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、ご入居者の方々をはじめ、関わってくださっているすべてのの方々に対して暖かな愛が降り注ぎますようお願い申し上げます。



西京の街を歩きまわって気付くことの一つは、幅が1mほどの溝が道に沿って、あるいは家の合間を縫うようにして、網目のように街中に広がっていることです。今でも所々に田や畑が残っていることでも分かりますが、西京は戦後まで農地の広がった半ば農村の一角でした。溝は農地を灌漑するための農業用水だったわけです。大部分の溝は底に泥水が溜まっているだけですが、なかには今も水がたっぷり流れているところもあります。西京一帯は早くから農地が開かれており、室町時代にはほとんどが公家や寺社の荘園として区分けされていて、西岡十一郷(※1)と呼ばれていました。桂川から田畑に水を供給する用水も早くから整備されています。これらの用水をまとめて桂川用水といいます。昭和33年から京都府は用水の整備をしています。そのときも昔からあった用水路をそのまま利用しているといえます。

桂川用水はいつごろ出来たのでしょうか。東寺百合(ひやくごう)文書(※2)には室町時代の中期に作成されたと思われる「桂川用水差図」があり、革嶋家文書(※3)には用水の利用について上久世、河嶋、寺戸の三郷が交わした、南北朝時代の日付のある誓約書があります。出来たのは少なくともそれ以前、もしかすると鎌倉時代になるのかもしれない。

「桂川用水差図」によると、法輪橋(渡月橋)から下流の桂川には、兩岸に合計11ヶ所の用水取り入れ口が出来ていました(図1)。中でも今井溝(いまみぞ)は西岡十一郷を潤す大用水でした。松尾馬場崎(松尾中学の西、松室中溝町付近、近くには今井町の地名も残っている)で取水され、松尾鈴川町(阪急上桂駅の北側付近)で二つに分かれて、西側の上六郷溝は川島、寺戸などを通って淀樋爪町(伏見区)で桂川に合流、東側の下五郷溝は徳大寺、下

桂、下津林、上久世などを通して羽束師(伏見区)で桂川に合流するという大規模なものでした。今井溝の跡は今でも見ることが出来ます。阪急桂駅からいいますと、東口から桂大橋方面に向かうバス道路を進み、地藏寺の手前で横切るのが下五郷溝、西口から西へ真っ直ぐに進み、道が登りにかかる辺りで横切るのが上六郷溝と思われ(図2)。どちらにも水は流れていますが、特に上六郷溝にはかなりの量の水が流れていることが分かります。なんとということもないう道端の溝が室町時代からの歴史を背負っているかと思うと、不思議な気持ちになります。

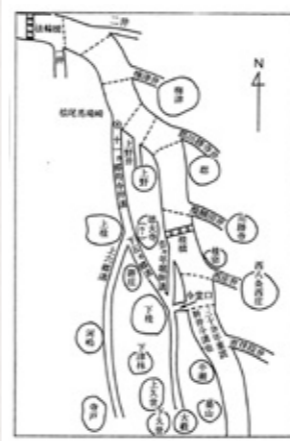


図1 桂川用水差図(東寺百合文書)



図2 現在の今井溝(上六郷溝)

- ※1: 上桂、徳大寺、下桂、川島、下津林、牛瀬、上久世、下久世、寺戸、築山など、今も西京区、向日市の地名として残っている。
- ※2: 東寺に伝わる古文書。江戸時代に加賀の前田家が寄進した百個の桐箱に収められて伝わっていることから、こう呼ばれている。中世、東寺が所有していた荘園の様子が分かる貴重な資料。現在は京都府総合資料館が収蔵、重要文化財。(「合」は蓋付きの容器を数える語)
- ※3: 室町時代、いま地名の上に「川島」が付く一帯に近衛家の荘園「革嶋荘」があり、その荘官だった革嶋家に伝わる古文書。革嶋家八百年の歴史を語る資料。現在は京都府総合資料館が収蔵、重要文化財。

「えがお」のこと

五〇七号 後藤 暁

朝ドラで今、「わろてんか」をやっている。

笑う門に福は来ると思うが、いつも面白らしい笑顔で暮らすのも、なかなか難しい。で、普段のありふれた嬉しい笑顔を積み重ねて、福を招くのはどうだろう。

私には、毎朝鏡に向かい、色々な笑顔を作る日課がある。嬉しい笑顔は、こうして試してみる。まず、お気に入りの花が咲いた時の、あのほっこりとした嬉しい気分を、心によみがえらせる。その感情移入ができれば、笑顔が、自然とほころび出てくる。

話が飛ぶが、古代日本では、今の「笑う」は、「咲う」と書かれたという。つまり、人が笑うことと花が咲くことは、同種の出来事と、とらえられていたらしい。なるほど、例えば、桜が咲けば、笑顔もこぼれるだろうし、満開の桜は、人の笑顔の塊とも見える。そこで私は、自分の中では、嬉しい笑顔を、「咲顔(えがお)」と呼ぶようにしている。

福が来るかはさておき、私は、これからも、ささやかな「咲顔」を心がけよう。身近に、喜びの種を見つけたら努力をしよう。いつか、心からの「咲顔」で、周りの人も自分をも、幸せな気分になさりたいものである。



模擬患者ボランティアのご協力

有難うございました

ケアセンターひまわり 副センター長 西城 嘉子



8年前に京都桂看護専門学校から模擬患者の派遣の依頼があつて以来、たくさんのご入居者の方々に毎年参加していただいております。今年からはライフ・イン京都の多目的ホールに看護学生が出向くことになり、より参加して頂きやすくなりました。

今年は10月13日に2年生のコミュニケーションの勉強、30日には1年生の血圧・脈拍等の測定実習に、2日間で延べ27名のご入居者が協力して下さいました。

来年も若い看護学生の教育にお力を貸していただきたいと思いますので、引き続きお願い致します。

最近の主な出来事

EVENT REPORT

2017年9月～12月

フラダンスショー

9月9日 参加者53名
プラニフラスタジオの皆様



ハワイアン風の唄に乗せてフラダンスを披露していただきました。「薔薇が咲いた」の唄にあわせて、手の動きを教えて頂きご入居者と一緒に踊って頂きました。子供たちによるフラダンスもとってもかわいかったです。

落語寄席

10月28日 参加者40名
京都女子大学 落語研究会



女御亭 喜琳さん

女御亭 かもね喜さん

楽しい時間を過ごさせて頂きました。

京都桂病院 第80回「健康教室」 食塩と健康 ～適塩生活のコツお教えます～

12月2日 参加者24名
講演者：京都桂病院 管理栄養士
川手 由香氏



皆様、うなずいたりメモを取りながら熱心に聞いておられました。

クラシックコンサート

9月25日 参加者97名
演奏者：ルッツ・レスコヴィッツ氏(ヴァイオリン)
長谷川 美沙氏(ピアノ)



史上最高の弦楽とされる「ストラディヴァリウス」至高の響きを楽しんで頂きました。息の合ったお二人の演奏はとても素晴らしかったです。

秋の日帰りバス旅行 (吉野山と曾爾高原)

①10月30日 参加者20名
②11月13日 参加者19名



曾爾高原がある曾爾村は「日本で最も美しい村」のひとつに選定されています。どこか懐かしい風景でした。

ほろ酔いサロン&歌声コンサート

12月10日 参加者49名
演奏者：阿曾沼 克弘氏(ギター)
阿曾沼 飛昂氏(ヴァイオリン)



往年の歌声喫茶を思い出しながら、素敵な一夜を過ごしました。

秋の運動会

10月2日 参加者55名



今回は残念ながら雨天のため2階多目的ホールでの開催になりました。室内だった事もあり、とても熱気が感じられ大変盛り上がりしました。

防災の講演会と訓練

「震災からの教訓をふまえた防災について」

11月7日 参加者24名
講師：西京消防署
予防課消防指令補 長谷川 浩清氏



ご入居者、職員が一体となり災害時の訓練を実施いたしました。

ダンスパーティー

12月16日 参加者36名



今年11回を迎えたダンスパーティー！ダンス同好会の方々の踊りに見惚れました。

Pick UP

開設31周年記念行事

2017年11月14日～12月1日

開設記念演芸会 (11月25日)



コーラス
コーラス同好会



お話
矢崎 紀氏

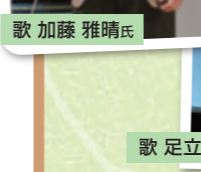
歌 田丸 恭子氏



歌 湯浅 郁子氏
山脇 逸子氏



歌 加藤 雅晴氏



歌 足立 明久氏



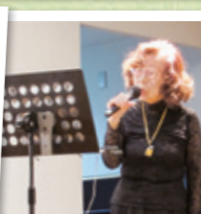
詩吟 平間 仁氏



歌 野崎 良子氏



祝 開設31
詩吟 清水 弘氏



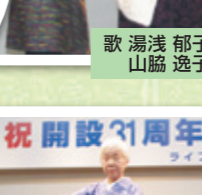
歌 今西 親子氏



歌 湯浅 郁子氏
山脇 逸子氏



歌 後藤 暁氏



ピアノ演奏
杉原 幸子氏
林 琢也職員



踊り 勝田 美智子氏

開設記念講演会 (11月14日)

「健康について考える
～健康生成論から～」

講演者：榎本 妙子氏
(同志社女子大学
看護学部 看護学科 教授)



開設記念競技会



卓球
(11月15日)



ビリヤード(11月20日)



麻雀(11月21日)

開設記念コンサート (12月1日)

フルーツ&ピアノコンサート

66名 伊藤 公一氏(フルート)
水野 久美氏(ピアノ)



作品展 (11月20日～24日)





ケアセンターひまわり・ケアセンターこすもす ケアセンター便り

ケアセンター運営懇談会

ケアセンターでは、ご入居者お一人お一人が居心地良く過ごせる「ここにいて良かった」と思っていたただけるような、その人らしい生活を支えることを目指しています。最近のエピソード、特に頑張っていることについて報告しました。

* 毎日の体操・リハビリ・野外アクティビティなど一人一人の希望や体力に合わせて個別又は少人数で対応させていただいたことで出来る楽しみ、満足感を感じていただき次への期待につながる言葉が聞かれました。

* あるフロアのご入居者は全員で何カ月もかけて新しい歌の練習をして、本館で開催される七夕の夕べで大勢の人を前に発表し新しいことができる達成感、喜びの様子が笑顔に表れていました。

* 又、別のフロアでは11月に行われる作品展に向けて共同で作品作りに取り組まれる姿がありました。

当初9月17日に予定していた今年度第一回目の運営懇談会は、西日本に接近する台風の影響を考慮して延期し11月5日に開催いたしました。日程の再調整にも関わらず当日は、ご入居者・ご家族様など19名の方にご出席いただき、各部署からの報告・誤嚥による事故等についてのお話・質疑応答の三部構成で懇談会を進めました。

次に高齢者に起こりやすい誤嚥による事故、肺炎について実際に経験した事例を交えて対応や予防するための取り組みなどお話ししました。

加齢や脳血管障害等により舌の運動機能、咀嚼力、嚥下力、唾液の分泌が低下することで咽やすく誤嚥しやすくなり肺炎になることもあります。ケアセンターご入居者の約25%の方にそのリスクがあると思われまます。喉詰めを起こしやすい食べ物としてお正月によく聞くおもち、うどん等の麺類、豆類、キノコ類、口の中の水分がなくなりやすいカステラ等があります。実際に経験した事例では煮物を召し上がったおられる時に喉詰り状態を発見し必要な処置をして取り出したものをみると数か所噛み跡のある小さめの椎茸がほぼ原形のまま残っていました。又、ある方は飲み込みや噛む力に合わせ一口大にカットした薄切りの豚肉を

しあがる時、それを詰めてしまわれたことがありました。喉に詰められることはもちろん誤嚥されないことが一番で、その方の飲み込む力に合わせて水分にはとろみをつけ、提供時の形や硬さも確認しながら重々気をつけていきます。誤嚥予防のひとつとして普段から毎日行っている体操の最後に舌や口を大きく動かす口腔体操や歌を取り入れて唾液が良く出るように、飲み込みがスムーズにいくようにしています。それでも誤嚥された場合には介護・看護職が連携して指での掻きだし、背部叩打、吸引を行い、状況により病院へ救急搬送します。又、誤嚥された後は肺炎を発症されることも多いため状態の変化に注意しています。

◆
◆
◆

質疑応答の中で、開設後12年となったケアセンターひまわりの改修計画について、特に特殊浴槽その他の入れ替えなどについてご質問があり、耐用年数を見ながらしっかり精査して経営・運営のことも考え優先順位を決め予算立てをして計画的に入れ替えることができるよう検討するとお答えいたしました。

介護の日 in ライフ・イン京都 2017

11月5日(日) 2階多目的ホール 施設見学会参加者:18名

講演会

参加者:67名

「高齢者におこりやすい足のむくみについて」



講演者:
● 梅本 佐代子氏 (京都桂病院 リンパ浮腫療法士)
● 森井 淳子氏 (京都桂病院 がん認定看護師)



介護ロボット



介護技術




介護用品



2008年に11月11日は「介護の日」と定められてから9年!

「いい日、いい日、毎日、あったか介護 ありがとう」

アロママッサージ



タクティールケア体験



石本体操



血管年齢測定

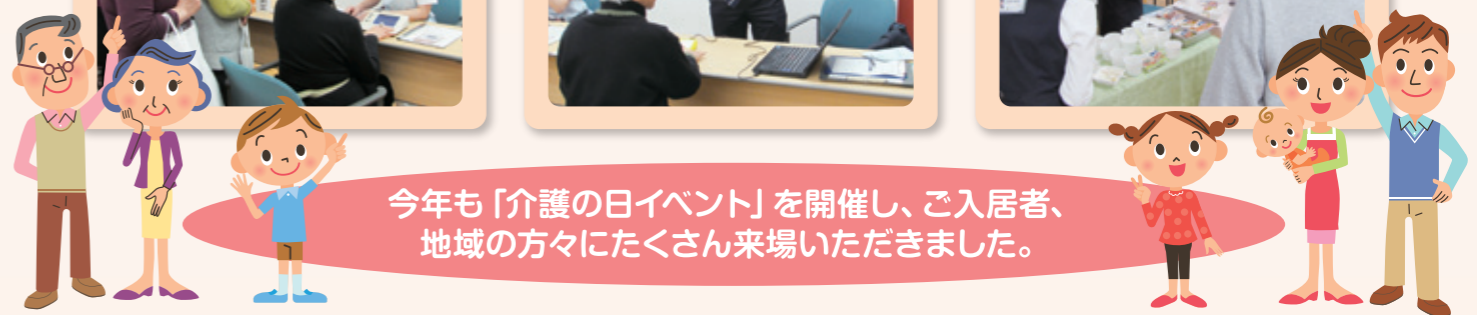


睡眠相談



栄養相談





今年も「介護の日イベント」を開催し、ご入居者、地域の方々にたくさん来場いただきました。

新人職員紹介



【事務長】
阿部 裕光



【ケアセンター看護課】
井上 幸子
鳥取県出身
趣味 山登り、
映画鑑賞

事務長着任のご挨拶

昨年11月1日に着任いたしました。阿部と申します。兵庫県出身で、趣味は読書と仕事です。
「今日できる事を明日に残すな」をモットーに、何事にも日々全力で取り組んで参ります。
宜しくお願いたします。

よろしくお願いたします。

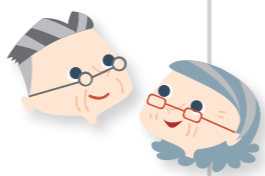
入退去状況

●新しく入居されました

【ケアセンターひまわり】
平成29年9月～12月
*4名の方が
ご入居されました*

●ご逝去のお知らせ

平成29年9月から12月までの間に7名の方がお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



編集部より

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては幸せな新年をお迎えになられたことと存じます。

さて、皆様はどんな初夢を見られましたか？そして、そもそも初夢は元旦に見る夢と言われていますが、私流でいきますと、三が日に見る夢で、一番良いものを今年の初夢としています。都合の良い考え方も明るく一年を過ごせるならば、神様も目を瞑って下さいます。多分：。初夢で縁起が良いと言われている、「一富士二鷹三茄子四扇五煙草六座頭」ですが、また私流に解釈させていただきますと、全て「ライフ・イン京都」に当てはまるのです。

一、「富士のように堂々と西の山に聳え立つ、白く美しい我が館」
二、「歴史ある古都京都を眼下にし、優雅に飛び立とうとしている鷹の飛翔」
三、「ライフ・イン京都で、怪我や病気になることとしても、介護・看護の支援のある暮らし」
そのように感じております。ご入居者の皆様、本当にライフ・イン京都での生活を安心して・満足して頂くことが私達職員の願いでございます。

新しい年を迎え、気持ち新たに初心にかえり、ひとつひとつ丁寧な対応を心掛け、皆様の声に耳を傾けながら、精進してまいります。皆様におかれましても、お健やかに、今年一年を過ごしていただきますようお願い申し上げます。

営業企画課長 吉村貴子



第20回 「New 介護予防体操
～笑いヨガとスクエアステップ～」

京都大学東南アジア地域研究研究所 三重大学医学部看護学科 石本 恭子

2011年10月より掲載が開始されたフィールドワーカー石本の健康コラムはおかげさまで20回目を迎えることとなりました。いつもご意見、感想を頂きありがとうございます。私の励みになっています。

今回は、最近注目を集めている介護予防体操を2つ紹介します。1つ目は、「笑いヨガ」です。笑い？とヨガ？と不思議な掛け合わせかもしれませんね。意識的に笑うという事は日常ではあまり行いませんが、笑いのエクササイズと呼吸法を用いた「運動」として考えていただきたいです。「笑う」という動作をすることによって、横隔膜を動かし、酸素をしっかりと体の中に取り入れることができます。体は意識的に行う作り笑いとは本物の笑いの区別がつかないために、どちらも同じ生理的・精神的効果が得られるとされています。先日、大阪で笑いヨガリーダーの講習会を受けました。受講後に、ある参加の方から「表情がよくなったわね。」と声をかけられました。声をかけられるまで私自身は気づきませんでした。効果ありですね。今後、体操教室でも取り入れていきますので、あくまで体操として、大声で笑っていただきたいです。ライフ・イ

ン京都でも笑い声が響かせていきたいですね。
2つ目は、スクエアステップエクササイズです。こちらは、石本体操教室で何回か行っています。スクエアステップの効果には、身体機能の向上、認知機能の改善などが明らかになっていきます。最初はなかなかステップを覚えられませんが、繰り返すことによって、少しずつできるようになります。石本体操教室の参加者の中にも、いつの間にか上手になつていく方がいらつしゃいます。継続は力なりですね。30分の間に、マッパを何往復もするので、普段よりも歩行数が増えますよ。座ったままでもスクエアステップエクササイズもありません。
どちらの体操も、最初は難しいな、間違っちゃって恥ずかしいなと思われがちです。ここであきらめず、少しずつと難しいことに挑戦すると、脳が活性化されると言われています。できることを行っても脳はあまり反応しません。
今年もライフ・イン京都では様々な教室や催しが開催されます。体と脳を刺激し、活性化するためにも、体操教室や催しに参加していきましょう。

Small Topic 国史跡「齋宮跡」



写真1 明和町齋宮跡 (2016.5 石本撮影)

三重県といえば伊勢神宮が有名ですが、伊勢神宮の天照大神に仕える「齋王」が住まうところが現在の明和町に存在していました(写真1)。昭和45年の団地造成の計画の事前発掘調査をきっかけに「幻の宮」とされた齋宮跡であることが裏付けられました。大きな遺跡が、比較的最近の発掘であることに驚いてしまいました。齋宮駅近くには、地元のおいしいものも売ってました(写真2)。齋王は女性で、神に仕える身であるがために、恋愛を禁じられており、秘話も多く伝えられています。



写真2 伊勢志摩限定 大吟醸あいす (ほんのりお酒の味がして美味でした)

(明和町ホームページより)